

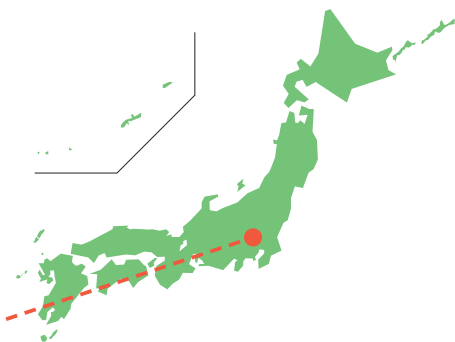
写真で見る

# 都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて  
移り変わってきたまちの姿。  
今と昔を写真とともに振り返ります。

おけがわ  
桶川市 (埼玉県)



令和  
5年  
(2023年)

商業施設や文化施設で人々がにぎわう駅前



秘書室秘書広報課  
副課長  
おおやべ さとし  
大谷部 聡さん

## にぎわいと安らぎが交差するまち「おけがわ」

江戸時代、多くの人々が行き交い栄えた宿場町「おけがわ」。近年は、緑と調和する安らぎに満ちた首都近郊都市として発展し、時代が大きく変わる中でも中心市街地は人々でにぎわい、活気あふれるまち並みを形成し続けています。

また、圏央道二つのICを有し、全国と首都圏を結ぶ交通の結節点としてまちのポテンシャルが飛躍的に高まる中、令和6年度に道の駅の開業を予定しており、にぎわい豊かなまちへさらなる発展を遂げようとしています。



駅前の象徴だった三井精機  
工業桶川製作所

昭和  
40年代  
(1960年代)